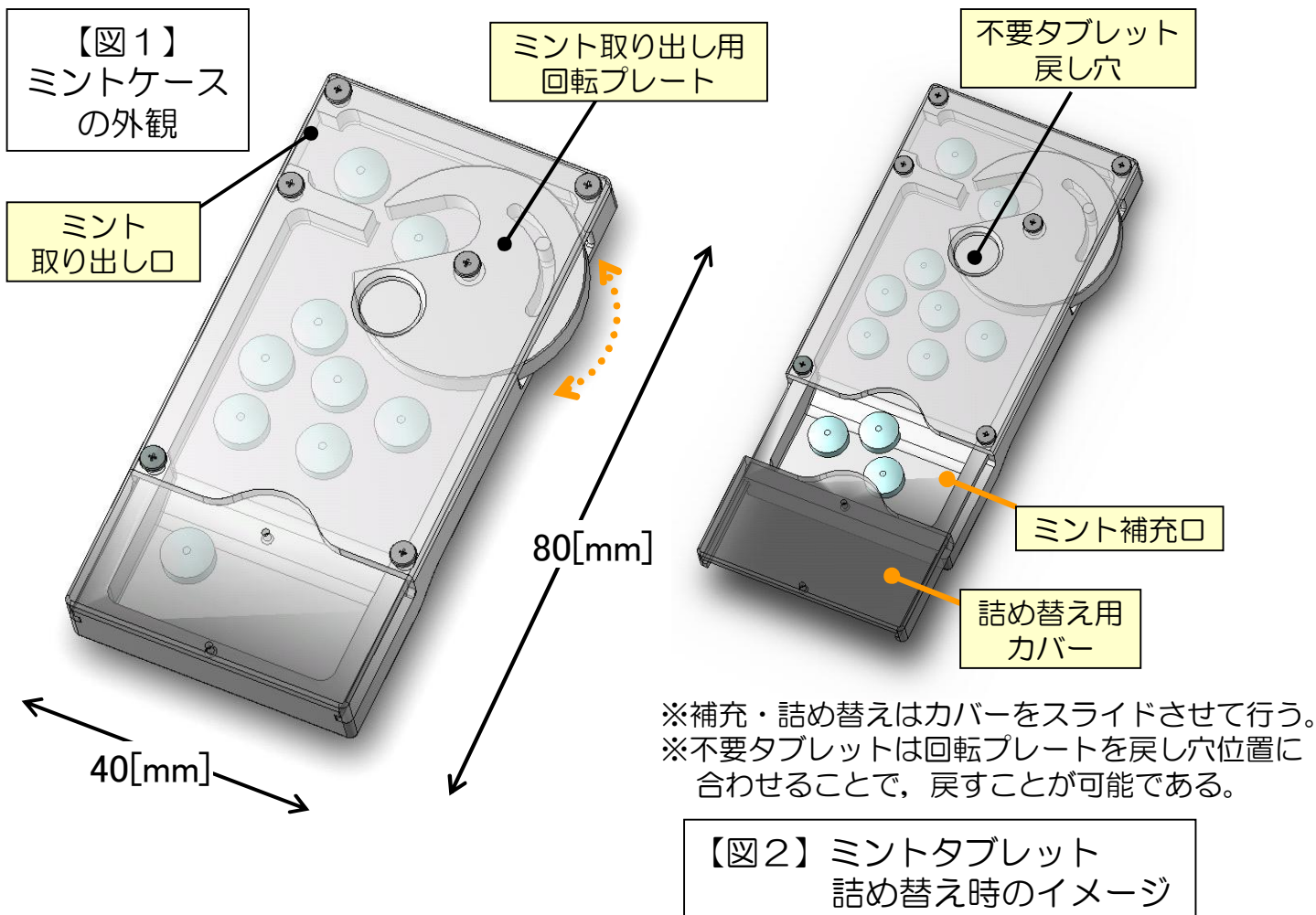


タイトル からくりミントケース



◎背景・コンセプト

○外出先でFRISK®(フリスク)などのミントを食べる時、**必要数以上のタブレットがケースより出てしまい** (図3), たくさんのミントを一度に口に含む。そんな経験がありませんか？

○使い捨ての安価なケースだから仕方ないのかもしれませんが、でもケースにもっと工夫をすれば、取り出す**タブレットの数を調整**することぐらい出来るのでは？ そもそも、ミントケースを使用後捨ててしまうのは勿体ない、**詰め替え可能なミントケース**があれば、環境にもやさしいのではないかと考えていました。

○そこで昔の容器に注目すると、ありました「浅田飴」(図4)。缶を空けた中蓋に開いた丸い穴が、浅田飴を1つ1つ丁寧に送り出します。でも、ミントは同時に2つは食べたい…。そこで機構に工夫を加えた、ギミック付きのミントケースを考案しました。

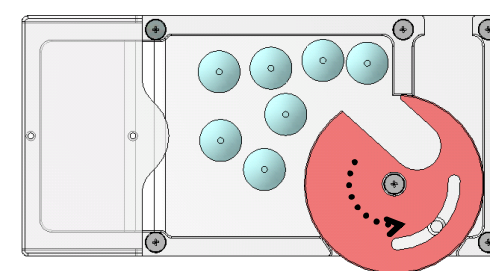


【図3】ミントを好みの個数取り出すには熟練の技が必要…。

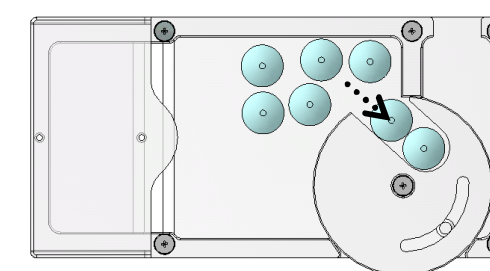


【図4】浅田飴の缶、中蓋が特徴的である。

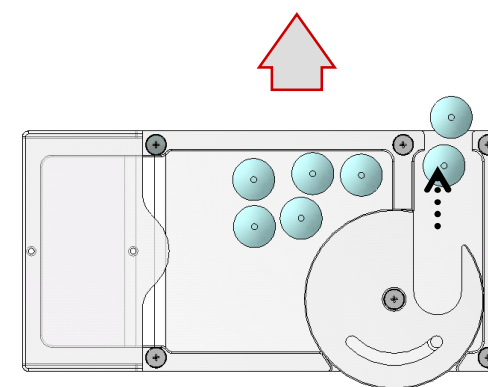
◎使い方



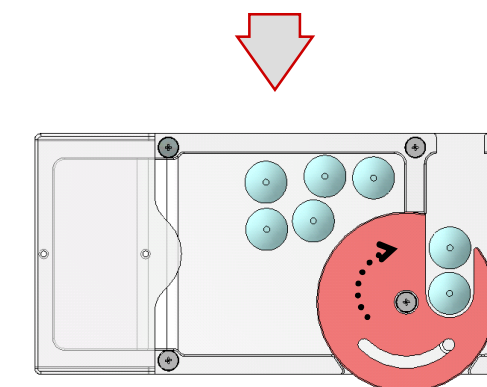
手順①：回転プレートを個数調整位置に回転させる。



手順②：ケースを傾斜させて、好みの個数をプレートの溝に送りこむ。



手順②：ケースを傾斜させて、ミントを取り出す。



手順③：回転プレートをミント取り出し位置に回転させる。

◎特長

- 1) **ミントタブレットを好みの数だけ取り出せる**ので、外出先の汚れた手でタブレットを扱う必要がなく、**衛生的**である。
- 2) 詰め替えて何度でも使用可能なため、**環境にやさしい**。
- 3) トップカバーが透明素材で出来ているため、**残量を確認しやすい**。また異なる味のミントを混合させて収容しても、色や形状により区別が可能で**好みの味のミントを取り出すことが出来る**である。